

2006年1月1日から2011年8月31日までに

当院救命センターへ肝損傷で入院された患者さんへのお知らせ

〈肝損傷に対する非手術療法の有用性及び安全性の検討〉について

川崎医科大学救急医学教室では、現在川崎医科大学倫理委員会の承認を得て、以下のような研究を行っております。

最近肝損傷に対する治療方針として開腹手術を行わない治療方法が有用である可能性が指摘されています。しかし、どのような損傷形態に対して、開腹手術を行わない治療方法が有用なのかは定かではありません。また、肝損傷後の合併症である胆汁腫形成の危険因子にも定まったものはありません。今回は当院での肝損傷症例を後向きに検討し、開腹手術を行わない治療方法の治療成績および解剖学的損傷形態と胆汁腫形成との関連を検討し、肝損傷に対する最善の治療方針と肝損傷後の合併症である胆汁腫形成に関する因子を明らかにすることが最終的な目的です。

・今回の研究においては、検査データを使用したのかわからないようにデータを管理し、細心の注意を払って研究を行います。研究成果は学会や論文に発表する予定ですが、患者さんの個人情報公表されたり、外部に漏れることは決してございません。

・個人が判別できない状況で研究を行います。また研究結果を患者さんやご家族にお知らせすることはございません。

・本研究により新たに加わる侵襲や予想される有害事象はなく、患者さんの受ける利益および損失はありません。

・学内研究費のみを使用する研究のため、利益相反は起こりません。また、患者さんへの謝礼もありません。

・上記の研究においてご自身の検査データは症状などが利用されることについて同意いただけない場合には、お手数ですが、下記までご一報くださいますようお願いいたします。

<問い合わせ連絡先>

川崎医科大学附属病院 救急科 石原 諭

倉敷市松島 577

086-462-1111

ishihara@med.kawasaki-m.ac.jp